

No. 2
近畿地方整備局
事業評価監視委員会
(平成25年度 第4回)

事業評価対象事業の一覧表及び位置図

平成25年12月2日

国土交通省 近畿地方整備局

平成25年度第4回 事業評価対象事業の一覧表 1/2
(再評価)

No.	事業種名	事業名	前回評価年度 (新規採択)	再評価 理由	事業概要
1	道路事業	一般国道168号十津川道路	H22	④	●概要： 国道168号の十津川村大字平谷～十津川村大字小原の雨量規制や土砂崩壊による通行止め回避を目的とした延長6.0kmの道路。 ●事業化年度： 平成8年度 ●全体事業費： 280億円 ●事業の進捗： 約81% ●今後の予定： 早期の供用を目指す。
2	道路事業	一般国道9号笠波峠除雪拡幅	H22	④	●概要： 一般国道9号笠波峠除雪拡幅事業は、一般国道9号の笠波峠付近の冬の安全で円滑な交通の確保、地すべり区間の回避、異常気象時通行規制区間の解消等を目的とする現道除雪拡幅事業。 ●事業化年度： 昭和62年度 ●全体事業費： 187億円 ●事業の進捗： 約49% ●今後の予定： 早期の供用を目指す。
3	道路事業	一般国道161号愛発除雪拡幅	H22	④	●概要： 国道161号の敦賀市疋田～同市駄口の冬の円滑な交通の確保及び幅員狭小区間の解消による物流の効率化の支援等を目的とした延長4.5kmの道路。 ●事業化年度： 平成15年度 ●全体事業費： 81億円 ●事業の進捗： 約58% ●今後の予定： H26 敦賀市疋田 0.5km 完成2車線供用予定
4	道路事業	一般国道417号冠山峠道路	H22	④	●概要： 国道417号の福井県と岐阜県との県境における交通不能区間の解消による安定した交通の確保等を目的とした延長7.8kmの道路。 ●事業化年度： 平成15年度 ●全体事業費： 230億円 ●事業の進捗： 約11% ●今後の予定： 早期の供用を目指す。
5	道路事業	一般国道480号鍋谷峠道路	H22	④	●概要： 国道480号の大阪府と和歌山県境における土砂崩落等による通行止めの回避、災害時の迂回解消を含む走行時間短縮等、峠部の線形不良区間の解消等を目的とした延長4.1kmの道路。 ●事業化年度： 平成20年度 ●全体事業費： 177億円 ●事業の進捗： 約31% ●今後の予定： H27 大阪府和泉市父鬼町～和歌山県伊都郡かつらぎ町平 4.1km 完成2車線供用予定
6	道路事業	一般国道165号大和高田バイパス	H22	④	●概要： 地域高規格道路 南阪奈道路の一部を構成し、国道165号の奈良県香芝市内～同県橿原市の交通混雑の緩和及び交通安全の確保等を目的とした延長14.4kmの道路。 ●事業化年度： 昭和43年度 ●全体事業費： 930億円 ●事業の進捗： 約89% ●今後の予定： 早期の供用を目指す。
7	道路事業	一般国道27号西舞鶴道路	H22	④	●概要： 国道27号の舞鶴市上安～舞鶴市京田間の西舞鶴地区において、交通混雑の緩和、高速道路へのアクセス強化、交通安全の確保、災害への備え等を目的とした延長4.9kmの道路。 ●事業化年度： 平成19年度 ●全体事業費： 245億円 ●事業の進捗： 約5% ●今後の予定： 早期の供用を目指す。
8	道路事業	一般国道2号神戸西バイパス	H22	④	●概要： 第二神明道路の交通混雑の緩和及び交通安全の確保等を目的とした延長12.5kmの道路。 ●事業化年度： 昭和63年度 ●全体事業費： 1,900億円 ●事業の進捗： 約73% ●今後の予定： H25(主)小部明石線～(都)西神5号線 一般部 1.0km 完成2車線供用予定
9	河川事業	淀川流水保全水路整備事業	H20	④	●概要： 淀川の主要な汚濁源となっている下水処理後の排水を浄化し、流水保全水路により分離流下することで、安全でおいしい水の確保を図るもの。 ●事業化年度： 昭和62年度 ●全体事業費： ー ●事業の進捗： ー
10	河川事業	由良川直轄河川改修事業 ・由良川直轄河川改修事業 ・由良川直轄河川改修事業(土地利用一体型水防災事業)	H23	⑤	●概要： 「由良川水系河川整備基本方針」で定めた目標に向け、上下流および本支川バランスを踏まえた段階的な整備を行い、昭和34年伊勢湾台風規模の降雨により発生する洪水に対して浸水被害の防止または軽減と、下流部においては平成16年台風23号洪水により家屋浸水被害の発生した地区の被害軽減を図る。 ●事業化年度： ー ●全体事業費： 1,420億円 ●事業の進捗： ー
11	公園事業	国営明石海峡公園	H22	④	●概要： 主として近畿地方の広域レクリエーション需要の増大に対処するために設置された、淡路地区、神戸地区の2地区からなるイ号国営公園(計画面積：淡路地区96.1ha、神戸地区233.9ha)。 ●事業化年度： 平成5年度 ●全体事業費： 958億円 ●事業の進捗： 約78% ●今後の予定： 淡路地区は、文化交流ゾーンと海岸ゾーンの大部分の39.5haは開園済み。残る展望ゾーンは緑地の保全が中心で順調に事業進捗。神戸地区は、H28年度開園に向けて、棚田ゾーンを中心とした生物多様性のための里地里山づくりと開園時の体験プログラムづくりを実施中。
12	公園事業	国営飛鳥・平城宮跡歴史公園	H22	④	●概要： 我が国固有の優れた文化的資産の保存を活用を図るため閣議決定を経て事業化された、飛鳥区域と平城宮跡区域からなるロ号国営公園。 ●事業化年度： 昭和46年度 ●全体事業費： 926億円 ●事業の進捗： 約25% ●今後の予定： 飛鳥区域では、H28年度開園目標に向けてキトラ古墳周辺地区の施設整備を計画的に実施。平城宮跡区域では、築地回廊等の第一次大極殿院における建造物の復原整備、拠点ゾーンの施設整備を計画的に実施。
13	官庁 官舎事業	大阪第6地方合同庁舎	H20	②	●概要： 大阪市内に点在する官庁施設の、耐震安全性の確保、老朽・狭あいの解消、市内に分散した庁舎の集約化による利用者利便性の向上及び国有財産の有効活用を図るもの。 ●事業化年度： 平成21年度 ●全体事業費： 169億円 ●事業の進捗： 0%

平成25年度第4回 事業評価対象事業の一覧表 2/2

14	港湾整備事業	大阪港南港東地区 国際物流ターミナル整備事業	H22	④	<ul style="list-style-type: none"> ●概要：取扱い岸壁が分散している製材を集約し物流効率化を図り、北南米向け鉄鋼・鋼材輸出の積出拠点港としての機能を高めることにより国際競争力の強化を図る。 ●事業化年度：平成8年度 ●全体事業費：118億円 ●事業の進捗：約32%
----	--------	---------------------------	-----	---	---

〔再評価理由〕

- ①:事業採択後3年間に経過した時点で未着工の事業
- ②:事業採択後5年間に経過した時点で継続中の事業
- ③:準備・計画段階で3年間に経過している事業
- ④:再評価実施後3年間に経過している事業
- ⑤:社会情勢の急激な変化、技術革新等により再評価の実施の必要が生じた事業

(事後評価)

No.	事業種名	事業名	完了年度	事後評価理由	事業概要
1	河川事業	大津・草津川放水路事業	H20	事業完了後5年以内	<p>(大津放水路)</p> <ul style="list-style-type: none"> ●概要：大津市の市街地における浸水被害の防止・軽減を図る河川改修事業。 ●事業化年度：平成4年度 ●完成供用：平成16年度 ●全体事業費：641億円 <p>(草津川放水路)</p> <ul style="list-style-type: none"> ●概要：草津市の市街地における浸水被害の防止・軽減を図る河川改修事業。 ●事業化年度：平成4年度 ●完成供用：平成20年度 ●全体事業費：849億円
2	河川事業	草津川放水路浄化事業	H18	事業完了後5年以内	<ul style="list-style-type: none"> ●概要：琵琶湖の良好な水質を確保するために、琵琶湖に流入する草津川で水質浄化施設を整備 ●事業化年度：平成9年度 ●完成供用：平成20年度 ●全体事業費：34億円
3	河川事業	相野谷川土地利用一体型水防災事業	H20	事業完了後5年以内	<ul style="list-style-type: none"> ●概要：熊野川水系相野谷川において、一部区域の氾濫を許容し、連続堤に比べて効率的かつ効果的に、住家を氾濫から防御するため、輪中堤や宅地の嵩上げを行う。 ●事業化年度：平成13年度 ●完成供用：平成20年度 ●全体事業費：61億円

事業評価対象事業の位置図

